

議長（門脇 助雄君） 続いて11番、伊藤守一君。

11番（伊藤 守一君） 今定例会におきまして、東員町の土地開発、ごみ問題、道路整備についての3点の質問をいたしますので、よろしくお願い申し上げます。

まず1点目の土地開発でございますけども、自立できる東員町を目指し、また将来人口3万人構想として、今年の町長方針で所信表明でもありました4つの主要施策の1つ、元気なまちづくりを着実に進めていただいております。その案件、4件について、内容を伺います。

まず1点目でございますけども、長深地区のイオンスーパーにつきましては、三和小学校の東側で、広さ10万平米、建屋が2万2,000平米、平成20年4月に開店を目指していると。そこまでは私たちも報告をいただいておりますが、その後、いろんな計画変更等がございます、イオンからの地元説明会等が開催されていると伺っております。せっかくいろんな話が進んでおりますので、少しでも早く立ち上げを望んでいる一人でございますけども、今までの経過と、今後どうなるのかという説明を伺います。

2点目でございますけども、瀬古泉筑紫地区内の八千代工業ですが、聞くところによるとワイジーテックというらしいのですけども、その進出計画につきましては、開発面積が約6万3,000平米、工場につきましては5万3,000平米で、プレスと溶接工場が予定されていると聞き及んでおるところでございますけども、その後、個人的に聞いたところによりますと、その時点では、調整池をつくって進入路の取り付けをやっておるといふことで、あと建築確認の申請が下りるのを待っているところだと聞いておりますけども、今までの経過と現状、どの辺まで進んでいるかという説明をひとつよろしくお願いしたいと思います。

3つ目でございますけども、城山の東側、旧サンジルス球場の近辺でございますけども、工業地区開発、仮称東員ハイブリットというんですかね、民間開発でございますけども、予定開発が13万平米で4区画（1区画 2万平米）と聞いておりますけども、桑名の不動産会社が開発していると。途中経過で開発許可もOKが出たというところまでは聞きましたけれども、その後の開発状況を伺います。

4つ目でございます。東員駅の北側、中央地区まちづくり住宅開発、9万坪ぐらい予定されてますかね。最近の情報としては、政策推進課のホームページを見て、ナンバー4でしたか、それぐらいの進捗状況というか、ホームページを見て、この辺まで進んでいるのかなということでございますので、今後の経過も含めて、直近の情報を伺いたいと思いますので、ひとつよろしくお願い申し上げます。

以上でございます。

議長（門脇 助雄君） 太田進企業立地対策特命監。

企業立地対策特命監（太田 進君） 伊藤議員の、東員町の土地開発の進捗

状況についてのご質問にお答えいたします。

国の三位一体改革による地方交付税の激減や、少子高齢化社会の到来で、全国の地方自治体が財政運営に危機感を抱いている状態にあり、この問題は本町にとりましても無関係ではなく、今後も持続的な発展を続けていくために、歳出の見直しを行うと同時に、歳入確保の施策として「企業誘致」と「住宅政策」に懸命に取り組んでいるところであります。

1点目の仮称イオン東員店につきましては、長深地内の三和小学校東側での大型店舗開発計画でありまして、昨年11月29日に開発許可を受け、開発工事に着手するための地権者説明会を行った後、土地賃貸予約契約手続を行っており、現在、数件の契約締結を残すのみで、今年の秋に造成工事に着手し、平成22年3月に開店の予定で進められております。

2点目の八千代工業株式会社の瀬古泉地内の旧杉山コンテック工場跡地での工場建設の状況ですが、既に造成工事を終えられ、6月下旬に建設着工されて、年内に工場を完成し、子会社である株式会社ワイジーテックにより、自動車部品のプレス・溶接工場として、来年1月の操業開始を予定されてみえまして、株式会社ワイジーテックから広報「とういん」で従業員募集の広告掲載を行いたいとの意向も伺っております。

3点目の弁天山東部での工業地区開発についてでございますが、旧サンジルス球場周辺の山林等、約13ヘクタールの開発計画でございます。先ほどのイオンと同じく昨年の11月29日に開発許可を受けられ、現在は開発許可基準に従いまして、工事着手に向け、細部にわたる打ち合わせ協議等を行い、造成工事の準備作業中と聞いております。

4点目の東員駅北側の住宅開発についてでございますが、人口増加施策の一環として住宅地を確保すべく、東員駅と県道菰野東員線の間約30ヘクタールにおきまして土地区画整理事業調査に取り組んでおり、これまでに、土地利用状況調査や測量調査を進める中で、地権者の皆さんの意向調査や検討会などを行ってまいりました。

調査事業も本年度が最終年度でございます。説明資料を整え次第、事業計画素案を策定し、説明会や意見交換会、事業検討会を進めさせていただき予定でございます。

いずれにいたしましても、東員町が「元気なまち」であり続けるためには「企業誘致」と「人口の増」が必要と考えるところでございます。議員の皆様、住民の皆様のお知恵をおかりしながら、施策の展開を図ってまいりたいと考えておりますので、ご理解、ご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。

以上でございます。

議長（門脇 助雄君） 伊藤守一君。

11番(伊藤 守一君) イオンの協議というのは、僕から見たらすごい長いなという感じがあるんですけども、イオンの申請内容で一番何がネックになったのか、ちょっと教えていただきたいのと、ワイジーテックの調印式も、新聞等で町長が調印してみえるところが写ってましたけども、その中で地元企業でありながら、本社は、八千代は四日市ですか、東員町の方を採用する、地元採用というんですかね、調印式の中で、地元採用で本工も派遣もパートも全部入れて約3割ぐらいを採用できんかという条約とか、そういうのは結べなんだかなということを、もう1件聞きたいと思いますので、ひとつよろしくお願い申し上げます。

議長(門脇 助雄君) 太田進企業立地対策特命監。

企業立地対策特命監(太田 進君) お答えいたします。

イオンにつきましては、ご指摘のとおり、当初の計画は議員がおっしゃられたとおりでございました。しかし、昨年10月に着工する予定でございましたけども、当初、1フロアで開発許可をいただいたんですけども、その段階でイオン側が規模を拡大したいということで、今現在その事業計画の変更を協議しながら、先ほど答弁させていただきましたように、賃貸仮契約書と同時に進行しているというのが今の現状でございます。

それと八千代工業につきましては、4月17日でしたか、立地協定を結びまして、その中に地元雇用ということで、協定書の中にも条項を入れておりますし、できるだけ地元採用ということで、当初30人でしたか、今年度、聞いたところによりますと、51名の採用予定をしてみえますけども、できるだけ地元採用ということでお願いしていくつもりでおります。

以上でございます。

議長(門脇 助雄君) 伊藤守一君。

11番(伊藤 守一君) イオンにつきましては、今年の秋の工事で平成22年3月のオープンというと、丸1年の工事というのはすごい工事であって、元の1フロアでの工事でよろしいのですか。一度確認させていただきます。

議長(門脇 助雄君) 太田進企業立地対策特命監。

企業立地対策特命監(太田 進君) お答えいたします。

1フロアを、2階建ての2フロアにし、3階に駐車場をしたいということで、今、事業計画の変更を協議しているところでございます。

以上です。

議長(門脇 助雄君) 伊藤守一君。

11番(伊藤 守一君) これからイオンも進んできます。旧サンジルス球場の近辺の工場も進んできます。先ほど私お願いしました、地元採用という項目を、契約段階において検討できんかなというのを1点確認させていただきたいのですけど。それと東員地区中央まちづくりですね、この案件については、ほとんどホーム

ページの4号と同じですね。何とか皆さん努力されてみえて、ホームページの4号の時点であるということを確認させていただきます。

以上でございます。

議長（門脇 助雄君） 太田進企業立地対策特命監。

企業立地対策特命監（太田 進君） お答えいたします。

雇用につきましては、できる限り立地協定を結びまして、その条項に入れさせていただき、採用をしていただくようにしていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思っております。

以上です。

議長（門脇 助雄君） 近藤洋総務部長。

総務部長（近藤 洋君） お答えをさせていただきます。

冒頭で特命監の方から答弁ありましたとおり、本年度につきましては事業計画素案の策定をして、説明会、意見交換会、事業検討会を進めるという段階でございます。その都度、周知させていただきますので、よろしくお願ひ申し上げます。

議長（門脇 助雄君） 伊藤守一君。

11番（伊藤 守一君） どうもありがとうございました。

それでは次に、ごみの問題について進めさせていただきます。

現在、最終処分場、粗大ごみの集積場でございますけども、それに利用してま土地の所有者が、2月29日の新聞報道ですけども、自己破産されたということで、町との関係部分につきましては、3月定例会の全員協議会で町長から報告がございました。その後の交渉においても、相手の管財人と交渉して、今後も利用できるようになったというのも、5月8日、全員協議会で報告をいただきましたけども、今までの経過も含めて、今後どうしていくのかという方向性を伺いますので、町長ひとつよろしくお願ひ申し上げます。

議長（門脇 助雄君） 佐藤均町長。

町長（佐藤 均君） 最終処分場用地は、桑名市内の建設会社の所有地でありまして、賃貸借契約によりまして借地をしておりましたが、本年2月29日に、津地裁四日市支部に自己破産を申請し、破産手続開始決定を受けられました。

最終処分場は土砂・瓦れき類の受け入れを行い、また、粗大ごみの集積場として利用しておりますことから、継続して借地をお願いする予定でありましたが、自己破産に伴いまして、平成20年度の賃貸借契約を締結することが一時は困難な状況となりました。

しかし本町といたしましては、必要な施設であることから、破産管財人と協議を重ね、継続して利用できるようお願いをしております。破産管財人は土地の処分を希望され、本町としては継続して利用していきたいことから土地の購入を検討し、売買契約が締結できるまでの間は、賃貸借契約の期間延長の合意を得まして、

現在も借地として利用できるようになりました。

今後につきましては、用地鑑定評価を行った上で十分な検討を行い、破産管財人に用地の買入申出を行う予定をしております。

本定例議会におきまして、用地の鑑定委託料を補正予算に計上させていただいております。また、9月定例議会におきまして、結果によりましては用地の購入費を計上させていただく予定をいたしております。

どうぞご理解のほど、よろしくお願いを申し上げます。

議長（門脇 助雄君） 伊藤守一君。

11番（伊藤 守一君） 粗大ごみにつきましては、このままの状況で10年間は利用できるかと伺っておりますが、9月定例会において借り上げるという方針が今、町長から出ましたけども、あの土地については10年間使えるということで、東員町が買い上げて、10年間というスパンを、長く使用できるように、15年とか18年とかいうPRというのはどういうふうに考えてみえるのか。あとは多分、住宅地には向いてないので、町の施設について建設を考えてみえるのかどうか、2点伺いますので、よろしくお願いをいたします。

議長（門脇 助雄君） 佐藤均町長。

町長（佐藤 均君） お答えをさせていただきます。

基本的に私どもとしては、穴自体を町のものにしたいと、以前からそういうようなお願いをしてきた経緯もあるんです。それともう1点は、実は墓地がありますね。墓地へ行くための道路もお借りをしておるのです。それが買収できない、他の方に移転する、いつてしまいますと、墓参道というんですか、墓にお参りする道路そのものも将来どうしていくかという問題もございますので、墓参道と土砂・瓦れき等をほっておる用地を確保していきたい、そんな思いでございます。

そして、今、我々が一番これから研究せなあかんのは、いかに長もちをさせるか、それはもう少しきちっとほるものを管理していく、それと、よその町から入ってきていないか、その辺を将来的にはきちっと管理をしていかないと、無料でございますので、東員町外から持ち込まれるということが、非常に私どもとしては危険なことでございますので、当然よそは民間であれば有料化しておりますし、無料だから一番うまく東員町へ持ち込めば、ということになってまいりますので、これからきちっと、自分ところのまちのものになった時点では、その辺を十分検討していく、管理をきちっとしていく、そして1年でも長く穴をもたせていくということが非常に重要かと思っております。

そんなことで補正予算を認めていただいた段階で、早速、管財人と交渉に入らせていただきます。できることなら1円でも安い価格で東員町のものにしていきたい、その経過はこれから逐次、話の状況は議会の皆さんにご報告申し上げますので、墓の道もあるということだけ、ひとつご理解をいただきたいと思っております。

以上でございます。

議長（門脇 助雄君） 伊藤守一君。

11番（伊藤 守一君） 粗大ごみにつきましては、町長から報告がありましたように、若干の有料でも私は仕方ないかなと思うんです、今の時代ね。なるべく長いこと、18年、20年もたせていただきますよう、ひとつよろしく願いまして、次の質問にまいります。

道路整備についてでございますけども、以前、初めて議員になった時にも質問させていただきましたけども、東海環状自動車道、東員インターについてでございますけども、国道365号線の供用開始を要請しておりましたけども、国の財政状況の悪化から先延ばしの感があり、相当おくれるなどは思っておりましたが、瀬戸の愛知万博に合わせて、豊田東と美濃関が開通したということで、その後、万博が終わってすぐ新名神高速道路ですか、亀山、草津の田上が開通したということで、いよいよ東海環状東員インターかなという感じで、インターネット等で調べたんですけども、やはり計画中で、本当は行政の方はもっと詳しい内容を知っているのではないかと思ひまして、その情報も含めて、国の仕事、県の仕事でございますけども、今後の計画について伺いますので、よろしく願い申し上げます。

2点目ですが、国道421号線、桑名市の相川町から大安町経由、東近江市までの路線でございますけども、笹尾東の入り口から大木大沢、員弁町の岡丁田までの道路ですね。その道路について、以前もいろいろ話はあったと思うんですけども、計画があるのかないのかというのを伺いたいと思ひますので、ひとつよろしく願い申し上げます。

議長（門脇 助雄君） 伊藤清重建設部長。

建設部長（伊藤 清重君） 伊藤議員の道路整備のご質問について、お答えをいたします。

まず、1点目の東海環状自動車道の仮称東員インターの供用開始時期でございますが、この東海環状自動車道は、愛知県の豊田市を起点に、土岐市、岐阜市、いなべ市、東員町を経由し、四日市市までの約160キロメートルの自動車専用道路でございます。既に豊田市から関市までの東回り区間は供用をいたしております。

ご質問の、本町長深地区に設置される仮称東員インターチェンジの供用開始時期につきましては、東海環状自動車道が、四日市市で新名神高速道路の仮称四日市北ジャンクションに接続されますことから、新名神高速道路の四日市ジャンクションから四日市北ジャンクションまでの事業の進捗に合わせて、平成27年度までに東員インターチェンジの整備も行う予定であると、事業主体であります国土交通省北勢国道事務所から説明をいただいております。

次に、2点目の国道421号の笹尾東入り口から大木大沢地区までの改修状況でございますが、この整備事業は、主に歩道を両側に整備する交通安全事業で、全体

計画では、穴太地内の県道桑名東員線との接続点から西方向に鳥取沢の県道多度東員線との交差点付近までの約1,950メートルの区間を整備するもので、現在までに、先ほどの起点からご質問の笹尾東進入口交差点までは既に整備も完了し、供用がなされております。

これより、さらに西方向の整備計画につきましては、平成20年度から平成24年度までの5カ年で、笹尾東進入口交差点から笹尾西進入口交差点までの区間を、まずは南側歩道を整備する計画で、現在、国へ事業要望を行っており、事業採択されますと、先に測量設計から着手する予定であると、道路管理者であります県桑名建設事務所から説明を受けておりますので、どうぞよろしくご理解賜りますよう、お願い申し上げます。

議長（門脇 助雄君） 伊藤守一君。

11番（伊藤 守一君） 東員インターにつきましては、長深中上、地元の方に大変協力いただいておりますので、平成27年と伺いまして、その内容については地元の方は知ってみえますかね。それが1点と、国道421号線の笹尾東から笹尾西までは、多分平成24年までには完成すると思います。国、県の事業でございますので、どうなるかわかりませんが、その後、鳥取から大木大沢までの区間でございますけども、今現在走ってもらったらわかると思うんですわ。ちょうど草が繁って、自転車、あるいはバイクでも、私はちょっとよう走りません。そういう意見もございますので、地元の要請もございます。なるべく早い時期に着工の要請をしていただきたいと思いますので、ひとつよろしくお願い申し上げます。

議長（門脇 助雄君） 伊藤清重建設部長。

建設部長（伊藤 清重君） お答えをいたします。

先ほどの長深地区の東員インターの関係でございますけど、それにつきましては地元説明会を既に終えております。それから鳥取沢から大木大沢の方面での道路拡幅の関係でございますけれども、県の道路整備計画に今のところ入っておりませんので、それを盛り込んでいただきまして、運行希望どおりにいか、それはわかりませんが、県の方へ強く要望させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたしたいと思っております。

議長（門脇 助雄君） 伊藤守一君。

11番（伊藤 守一君） ありがとうございます。終わります。